

戦争畢 其三

戦争をはる 其の三

支韻

盡日無聊漸下帷

盡日 無聊 やうやく帷とばりを下す

睡魔何恨故遲遲

睡魔 何の恨ぞ ことさらに遲遲たるは

狎朋誘致輸贏興

狎朋かふほう 誘致す 輸贏しゅえいの興

含笑投骰忽忘時

笑を含んで 骰さいを投ずれば たちまち時を忘る

語注 盡日 一日ぢう 狎朋 遠慮なき仲間

輸贏 勝負事、ここにては麻雀 骰 さいころ

武装解除されて捕虜の身分となりしも收容所の看板は立てざりき。敗戦前に比べ、誰もかほどとは思はざりし氣樂なる生活となりぬ。國府軍より警備のため小銃を貸與されしも、炊事要員以外は衛兵に當らざる限、朝夕數分の點呼に竝ぶのみとなりぬ。

大隊長じやんけんに勝ち、中國への勞務提供を免れぬればなり。のんびり歸國を待つべく考へゐしに、日本の船舶の殆ど沈没し、残りしを全稼働するとも十年は要すべし。飢餓の迫りある南方優先するが故、中國からの復員は十年後ならんかと聞きし時は誰も愕然となりぬ。

消閑には博奕となり、微發せし象牙の牌にて開帳となりぬ。厚紙を切りシトランプ、オイチョ札、更に將棋盤と道具も揃ひぬ。賭けざる勝負は興なきも、軍票を取合ひしとて使途なし。點數の計算かシツペイに熱中しゐぬ。

また、帝展に入選せし畫家の仕上げし花札評判を呼び、中國の春畫を寫眞にして祕藏しゐし男その模寫を頼みぬ。人物は得手ならずと言ひしも、かかる畫材は歌麿以來の傳統あり。畫伯もしか作品をも見て研鑽を積みしか。原畫より遙かに精彩あるが完成せば、畫伯の前に兵ら市をなしたり。

日本舞踊の師匠をりぬ。余も弟子入し、藤田まさと作詞の「軍國舞扇」の歌に併せて踊りぬ。三句目の「見やれ今宵の賀茂川あたり」にて後を振向く所作拙し。何回も駄目を出され、ものにならざる中に編成替ありて師匠去りぬ。